

第 51 回全国学校保健・学校医大会を開催

富山県医師会副会長 村上 美也子

去る 11 月 14 日(土)、第 51 回全国学校保健・学校医大会が『子どもたちを守り、はぐくむ』をメインテーマに富山国際会議場・ANA クラウンプラザホテル富山にて開催されました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の蔓延が大変危惧される中での開催となり、会場参加と Web 参加の併用によるハイブリッド開催となりました。開催に際し各都道府県医師会、各郡市医師会・富山県眼科医会・富山県耳鼻咽喉科医会には多大なるご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

お陰を持ちまして、会場参加者 245 名、Web 参加者 357 名で合計 602 名もの方々にご参加いただき、成功裏に終えることができました。



午前中の分科会は、からだ・ところ①が 6 演題、からだ・ところ②が 7 演題、からだ・ところ③が 7 演題、耳鼻咽喉科が 6 演題、眼科が 8 演題の合計 34 演題の発表をいただきました。発表の形式も会場での発表のみならず、録音入りのパワーポイントでの発表や ZOOM によるリモート発表もありましたが、全ての発表を滞りなく終えることができ、Web 参加者の皆様にも有意義にご参加いただけたものと思います。



分科会終了後は「緊急メッセージ」として、富山大学医学部小児科学講師 種市尋由先生による「新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守るために～本当の敵はどこにいるのか～」のご講演、開会式・表彰式では長年にわたり学校保健の向上にご尽力され功績のあった学校医7名、養護教諭7名、学校関係栄養士7名に日本医師会会長表彰が授与されました。本県からは、小矢部市の櫻井 泉先生が受賞されました。受賞おめでとうございます。



午後の部は『健全な学校生活にむけて～医療と教育の連携～』をテーマに「基調講演として富山大学医学部長・学術研究部医学系小児科学講座教授 足立雄一先生による「学校における食物アレルギーの最近の話題」、シンポジウムとして富山県立中央病院小児科部長 五十嵐 登先生に「『子供の健康管理プログラム』の事後対応、富山県医師会と県教育委員会との連携」、JCHO 高岡ふしき病院小児科部長 宮崎あゆみ先生に「高岡市小児生活習慣病予防健診の実際と全国実態調査報告」、富山県立中央病院小児科部長 藤田修平先生に「学校生活における児童生徒の心原性失神」、富山県議会議員・富山県医師会常任理事 種部恭子先生に「子宮頸がん予防ワクチン接種率向上に向けた取り組み」についてそれぞれご講演いただき、4名のパネリストの先生によるパネルディスカッションも開催し、会場からの質問も加え活発な議論をいただきました。



特別講演は、富山市ファミリーパーク園長 石原祐司先生から「神の鳥、ライチョウを未来へつなぐ」と題してご講演いただきました。プログラムの最後は、富山県立南砺平高校郷土芸能部の生徒の皆さんによる「越中五箇山民謡」の素晴らしいステージを見せていただき閉会となりました。困難な状況下において、この大会が子どもたちの未来に向けて有意義な会として開催できたことを感謝申し上げます。

